



2020年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL http://www.gnipharma.com

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO (氏名) トーマス・イーストリング TEL 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,380	28.1	861	26.5	817	35.4	526	5.1	244	36.9	265	87.3
2019年12月期第2四半期	3,419	58.4	681	184.5	603	837.8	501	-	178	-	141	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	5.63	5.48
2019年12月期第2四半期	4.29	4.26

（注）当社は、2019年9月4日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前第2四半期連結累計期間の「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	21,265	13,264	10,607	49.9	244.38
2019年12月期	20,607	13,095	10,692	51.9	246.54

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	-	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,672	29.9	1,516	16.5	1,463	22.2	951	51.1	533	193.3	12.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想につきましては、2020年2月14日の「2020年12月期の連結業績予想」で公表いたしました予想から変更ありません。今後の社会経済情勢の推移次第によっては連結業績予想の修正を必要とすることも十分想定されると判断した場合には適時開示して参ります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社、除外 -社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	43,405,449株	2019年12月期	43,369,449株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	1,223株	2019年12月期	1,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	43,399,874株	2019年12月期 2 Q	41,619,978株

（注）2019年9月4日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、2020年8月18日に、アナリスト向けの四半期説明会を開催する予定です。その説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(作成の基礎)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大による影響を最小限にすることに留意しながら事業計画の遂行を行い、対前年同期比で増収、増益を達成いたしました。

売上収益は4,380,805千円となり、対前年同期比28.1%増加しました。また、売上総利益も3,639,738千円となり対前年同期比20.3%増加しました。これは主に、医薬品事業セグメントの売上が引き続き堅調に推移したことによるものです。

営業利益は861,725千円となり、対前年同期比26.5%増加しました。売上総利益が増加したことに加え、売上収益対比で販売費及び一般管理費を効率的に費消したことにより、収益性が改善したためです。

四半期利益につきましては税金の増加により、526,789千円と対前年同期比5.1%増加となりました。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

主力製品であるアイスーリュイの売上収益が医薬品事業の約90%を占めておりますが、当第2四半期連結累計期間の売上収益は対前年同期比30.0%増加と順調に推移しております。加えて、新型コロナウイルス対策関連製品の売上収益が好調であったため、ヘルスケア製品の売上伸長もまた中国市場における新型コロナウイルスの影響は受けておりません。

以上の結果、医薬品事業における売上収益は3,543,247千円(対前年同期比42.9%増)、セグメント利益は546,623千円(対前年同期比159.2%増)となりました。

医療機器事業

米国における新型コロナウイルスの感染拡大は、当第2四半期に医療機器産業に著しい影響を及ぼしました。全国の病院が新型コロナウイルスの患者の収容能力を維持するために他の患者の受け入れを一時停止し、外科的処置を受ける患者にとっては治療を受けられない状況となりました。結果として、病院の外科部門に当社の医療機器を供給している医療機器業者の主要取引先からの受注が減少いたしました。

以上の結果、医療機器事業における売上収益は837,558千円(対前年同期比10.9%減)、セグメント利益は314,799千円(対前年同期比33.1%減)となりました。

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△2,045,143	△2,212,614	△167,471
人件費	△756,007	△865,503	△109,495
研究開発費	△304,360	△582,468	△278,107

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前第2四半期連結累計期間に比べ167,471千円増加し、2,212,614千円となりました。販売費及び一般管理費の増加は、アイスーリュイ関連のマーケティング費用および人件費の増加に伴うものです。また、研究開発費の増加は、アイスーリュイの新しい適応症の開発とCullgen Inc. (以下、Cullgenという。)で進行中の新規分解剤の研究によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
金融収益	31,190	24,523	△6,666
金融費用	△108,657	△68,365	40,292

金融収益

当第2四半期連結累計期間の金融収益は、前第2四半期連結累計期間の31,190千円と比べて、6,666千円減少し、24,523千円となりました。

金融費用

当第2四半期連結累計期間の金融費用は、前第2四半期連結累計期間の108,657千円と比べて、40,292千円減少し、68,365千円となりました。この金融費用は、主として、支払利息並びに現金支出を伴わない外貨建ての資産及び負債の評価替えによる為替差損によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位:千円)

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	差額
資産合計	20,607,389	21,265,336	657,947
負債合計	7,511,555	8,001,150	489,594
資本合計	13,095,833	13,264,186	168,352

資産合計

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて657,947千円増加し、21,265,336千円となりました。

負債合計

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて489,594千円増加し、8,001,150千円となりました。

資本合計

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて168,352千円増加し、13,264,186千円となりました。

連結キャッシュ・フロー

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	307,609	808,203	500,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,021	△186,332	135,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,477,163	122,388	△1,354,775

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の307,609千円の収入と比べて500,594千円増加し、808,203千円の収入となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益の増加及び営業債権等の回収によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の322,021千円の支出と比べて135,688千円減少し、186,332千円の支出となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の1,477,163千円の収入と比べて1,354,775千円減少し、122,388千円の収入となりました。主な収入は、短期借入金の増加によるものであります。

(3) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬活動はCullgenを中心に展開しており、同社は、新しい創薬基盤技術であるuSMITE™(ユビキチン化を介した標的タンパク質分解誘導技術)を活用した、がん、炎症性疾患及び自己免疫疾患の新たな治療における革新的な新規化合物を見出し、医薬品として開発を行う目的で設立されました。

Cullgenは現在、がんを対象とした5つの新規分解剤の開発に注力し、標的タンパク質分解技術の未来と考えられている、新規E3リガンドの同定と評価のための独自のプラットフォームを確立し、5つのE3リガゼ開発プログラムを進めています。そのうちから1つを2021年中にINDへと進めることを目指しております。

また、上海ジェノミクス有限公司の研究部門では慢性閉塞性肺疾患(Chronic Obstructive Pulmonary Disease: COPD)をターゲットとした研究を進めております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：Etuary®(一般名：ピルフェニドン)〕

放射線性肺炎(RP)

当社グループは、アイスーリュイの2番目の適応症として、RP治療薬の第3相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、反復投与、多施設でのオープン試験を行うものです。前事業年度第2四半期に治験実施計画書の登録基準が変更され、2020年6月末時点で58名の被験者が登録されております。

糖尿病腎症(DN)

DNは、I型糖尿病またはII型糖尿病により引き起こされる慢性腎臓病です。中国では9,240万人が糖尿病に脅かされており、このうち20~30%がI型糖尿病またはII型糖尿病を患い、腎疾患を引き起こすと言われております。本第1相臨床試験につきましては、2020年6月末時点で予備研究として6名の治験者が登録されております。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患(CTD-ILD)

2016年9月、結合組織疾患の患者の肺の炎症や線維症を引き起こすCTD-ILDの治療に対する4番目のアイスーリュイ適応症のNMPA承認を受けました。このINDの承認により、全身性硬化症(強皮症)と皮膚筋炎(DM)の2つの適応症について、直接第3相臨床試験に移行することが承認されました。

2018年6月には、強皮症およびDMの治療を対象とした第3相臨床試験の各段階において、無作為、二重盲検、プラセボ・コントロール、52週間の試験に第1期被験者を登録しました。強皮症には144名、DM試験には152名の被験者が登録される予定です。

なお、新型コロナウイルス感染拡大により、当第2四半期における治験者の登録が遅延してはりましたが、感染が収まれば登録は速まる見込みです。

じん肺治療薬(Pneumoconiosis Disease)

2019年5月、当社グループは、アイスーリュイの適応症として、じん肺治療薬としてIND申請に対する承認をNMPAより取得しました。じん肺疾患は、肺に炎症や瘢痕化(線維化)を引き起こす慢性的な肺疾患で、吸い込まれた粉塵や微粒子が、肺の細胞に蓄積することによって引き起こされます。中国には、およそ43万3千人の患者様があり、更に、適格な診断を受けていない患者様が、最大60万人いると推定されており、中国のみならず、世界中でアンメット・メディカル・ニーズ(有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズ)が存在しております。北京コンチネント薬業有限公司は、病院と提携して治験実施計画書を策定し、第3相臨床試験の準備を進めて参ります。

■F351(肝線維症等治療薬)

F351(一般名：ヒドロニドン)は、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な創薬候補化合物であり、他の世界の主要医薬品市場へ臨床開発活動を拡大する戦略の重要な部分を占めています。

F351は、アイスーリュイの誘導体である新規開発化合物であり、肝星細胞の増殖及び内臓の線維化に重要な役割を果たすTGF-β伝達経路の両方の阻害剤です。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国及び欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

中国 - 2019年8月にF351の中国における第2相臨床試験のデータ集積の終了を発表いたしました。本第2相臨床試験は中国全土の10の病院が参加し、無作為、二重盲検、プラセボ・コントロール、エンテカビル併用投与、用量範囲、多施設との条件で試験を行い、登録された177名の被験者の内、適切な試験を行うことが出来た149名の被験者の試験データ集積をもって本試験を終了致しました。

当社グループはNMPAが要求するその他の関連臨床試験または非臨床試験や肝生検から得られた多くの病理学的データを含む、第2相臨床試験の試験データの解析を実施しております。他方、臨床試験プロセスの監査を実施しており、監査が完了しますと結果が発表できます。

第2相臨床試験は完了していませんが、完了後は第3相臨床試験の実施方法や早期条件付き承認の可能性を含め、F351が早期に承認されるよう準備する予定です。

米国 - 米国の開発活動は、中国の第2相臨床試験の結果が発表されるまで一時保留しております。当社グループは、米国および中国における試験で収集されたデータに基づき、米国で実施可能な試験の疾患適応および用法・用量を決定いたします。

■タミバロテン（急性前骨髄球性白血病（APL）治療薬）

タミバロテンはAPLの治療薬です。APLは急性骨髄性白血病の一種で、前骨髄球が「がん化」する白血病です。共同開発者である東光薬品工業株式会社および当社グループのGNI Hong Kong Limitedは、2015年10月に「アムノレイク錠2mg（一般名：タミバロテン）」を輸入医薬品としてNMPAに登録申請しており、その後、NMPAは治験施設において文書審査および医薬品の臨床試験の実施の基準（GCP）査察を実施いたしました。NMPAは審査後、申請側に対しより多くのCMC（化学、製造、品質管理）データを求めており、申請側は2020年6月に追加データの提出を行いNMPAにおいて審査が行われております。

■F573（急性肝不全・慢性肝不全急性時（ACLF）治療薬）

F573はアイスーリュイ及びF351に次ぐ3番目の創薬候補化合物として、カスパーゼを阻害する可能性を持つ強いジペプチド化合物であり、B型肝炎ウイルス（HBV）、C型肝炎ウイルス（HCV）、アルコール性肝硬変による重症肝炎に関連して発生する細胞死や炎症反応に重要な化合物です。

2019年3月にF573に関する権利はGNI Hong Kong LimitedよりContinent Pharmaceutical Inc.に譲渡されており、当社グループは治験実施計画書を作成し、第1相臨床試験実施の準備をしております。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年2月14日の「2020年12月期の連結業績予想」で公表いたしました予想から変更ありません。新型コロナウイルス感染の影響は北米市場での医療機器事業に大きな影響を及ぼしている一方、中国市場での医薬品事業の好調により全社的には現時点においては予想を修正するには至らないとの見通しにありま。しかしながら今後の社会経済情勢の推移次第によっては連結業績予想の修正を必要とすることも十分想定されると判断した場合には適時開示して参ります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	2,399,936	2,360,843
使用権資産	393,696	720,206
のれん	4,768,650	4,687,871
その他の無形資産	1,843,081	1,775,428
繰延税金資産	16	16
その他の金融資産	599,385	578,446
その他の非流動資産	361,390	-
非流動資産合計	10,366,157	10,122,812
流動資産		
棚卸資産	806,978	838,284
営業債権及びその他の債権	1,188,778	1,110,029
その他の金融資産	403,237	395,498
その他の流動資産	167,877	476,400
現金及び現金同等物	7,674,361	8,322,311
流動資産合計	10,241,232	11,142,523
資産合計	20,607,389	21,265,336
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	981,950	748,639
リース負債	174,871	259,498
繰延税金負債	216,196	242,414
その他の金融負債	2,753,815	2,832,405
その他の非流動負債	168,547	162,800
非流動負債合計	4,295,382	4,245,757
流動負債		
営業債務及びその他の債務	271,812	235,689
借入金	690,823	1,161,858
リース負債	190,840	85,080
未払法人所得税	185,565	198,359
その他の金融負債	1,375,982	1,384,538
その他の流動負債	501,147	689,867
流動負債合計	3,216,173	3,755,392
負債合計	7,511,555	8,001,150
資本		
資本金	8,212,985	8,216,705
資本剰余金	4,273,412	4,097,788
自己株式	△472	△472
利益剰余金	△1,764,904	△1,520,424
その他の資本の構成要素	△28,894	△186,526
親会社の所有者に帰属する部分合計	10,692,126	10,607,070
非支配持分	2,403,706	2,657,115
資本合計	13,095,833	13,264,186
資本及び負債の合計	20,607,389	21,265,336

(2) 要約四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	3,419,440	4,380,805
売上原価	△394,289	△741,067
売上総利益	3,025,150	3,639,738
販売費及び一般管理費	△2,045,143	△2,212,614
研究開発費	△304,360	△582,468
その他の収益	12,072	62,764
その他の費用	△6,267	△45,693
営業利益	681,451	861,725
金融収益	31,190	24,523
金融費用	△108,657	△68,365
税引前四半期利益	603,984	817,884
法人所得税費用	△102,838	△291,094
四半期利益	501,145	526,789
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	178,623	244,479
非支配持分	322,522	282,310
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.29	5.63
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	4.26	5.48

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	501,145	526,789
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△359,334	△261,210
その他の包括利益合計	△359,334	△261,210
四半期包括利益合計	141,811	265,579
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△75,766	79,972
非支配持分	217,577	185,606

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2019年1月1日残高	7,511,950	3,352,602	△407	△1,946,745	68,836	28,838	97,675
四半期利益	-	-	-	178,623	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	△254,390	△254,390
四半期包括利益合計	-	-	-	178,623	-	△254,390	△254,390
支配継続子会社に対する持分の変動	-	938,388	-	-	-	6,332	6,332
新株の発行	13,181	13,181	-	-	△12,413	-	△12,413
新株予約権の戻入	-	631	-	-	△631	-	△631
株式報酬取引	-	-	-	-	14,412	-	14,412
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	-	185,276	-	-	-	△25,903	△25,903
所有者との取引額合計	13,181	1,137,478	-	-	1,366	△19,571	△18,204
2019年6月30日残高	7,525,131	4,490,081	△407	△1,768,121	70,203	△245,123	△174,919

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2019年1月1日残高	9,015,074	992,861	10,007,936
四半期利益	178,623	322,522	501,145
その他の包括利益	△254,390	△104,944	△359,334
四半期包括利益合計	△75,766	217,577	141,811
支配継続子会社に対する持分の変動	944,720	830,639	1,775,360
新株の発行	13,950	-	13,950
新株予約権の戻入	-	-	-
株式報酬取引	14,412	-	14,412
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	159,372	△129,090	30,281
所有者との取引額合計	1,132,455	701,548	1,834,004
2019年6月30日残高	10,071,763	1,911,987	11,983,751

当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2020年1月1日残高	8,212,985	4,273,412	△472	△1,764,904	96,199	△125,094	△28,894
四半期利益	-	-	-	244,479	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	△164,506	△164,506
四半期包括利益合計	-	-	-	244,479	-	△164,506	△164,506
分配金の支払	-	-	-	-	-	-	-
新株の発行	3,720	3,720	-	-	△3,480	-	△3,480
株式報酬取引	-	-	-	-	27,603	-	27,603
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	-	△23,520	-	-	-	△17,248	△17,248
その他	-	△155,823	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計	3,720	△175,623	-	-	24,123	△17,248	6,874
2020年6月30日残高	8,216,705	4,097,788	△472	△1,520,424	120,323	△306,849	△186,526

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2020年1月1日残高	10,692,126	2,403,706	13,095,833
四半期利益	244,479	282,310	526,789
その他の包括利益	△164,506	△96,703	△261,210
四半期包括利益合計	79,972	185,606	265,579
分配金の支払	-	△94,653	△94,653
新株の発行	3,960	-	3,960
株式報酬取引	27,603	-	27,603
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	△40,769	6,631	△34,137
その他	△155,823	155,823	-
所有者との取引額合計	△165,028	67,802	△97,226
2020年6月30日残高	10,607,070	2,657,115	13,264,186

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	603,984	817,884
減価償却費	108,066	155,389
営業債権及びその他の債権の増減額	△225,661	48,937
営業債務及びその他の債務の増減額	4,948	△31,464
棚卸資産の増減額	△122,382	△49,900
金融収益及び金融費用	91,728	8,388
その他	△18,627	95,419
小計	442,055	1,044,653
利息の受取額	11,425	25,423
利息の支払額	△28,867	△27,925
法人所得税の支払額	△117,003	△233,947
営業活動による正味キャッシュ・フロー	307,609	808,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168,894	△169,937
有形固定資産の売却による収入	2,108	—
無形資産の取得による支出	△35,192	△19,787
差入保証金・敷金の増加による支出	△12,979	—
貸付金の回収による収入	3,393	3,393
投資有価証券の取得による支出	△110,454	—
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△322,021	△186,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	8,109	305,835
長期借入金の返済による支出	△293,279	△50,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,950	3,960
非支配持分からの払込による収入	1,775,840	—
非支配持分への分配金の支払による支出	—	△94,653
リース負債の返済による支出	△27,456	△42,754
財務活動による正味キャッシュ・フロー	1,477,163	122,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96,964	△96,308
現金及び現金同等物の増減額	1,365,787	647,950
現金及び現金同等物の期首残高	4,869,762	7,674,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,235,549	8,322,311

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2019年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、その事業内容を医薬品事業と医療機器事業の二つに区分しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、GNI Tianjin Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC	生体材料

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	2,479,486	939,954	3,419,440	-	3,419,440
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,479,486	939,954	3,419,440	-	3,419,440
セグメント利益	210,919	470,241	681,160	290	681,451
				金融収益	31,190
				金融費用	△108,657
				税引前四半期利益	603,984

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
 2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	3,543,247	837,558	4,380,805	-	4,380,805
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	15,428	15,428	△15,428	-
計	3,543,247	852,986	4,396,234	△15,428	4,380,805
セグメント利益	546,623	314,799	861,422	303	861,725
				金融収益	24,523
				金融費用	△68,365
				税引前四半期利益	817,884

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
 2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。